

8・9月号

カウンセラーだより

たじま絆保育園 2021.8・9月号

皆さん、こんにちは。お久しぶりです。夏はそこまで暑くならなくて良かったですね。お出かけもできませんでしたが、秋に期待です。

さて、今回のおたよりは「いかに人と折り合い、動いてもらうか？」についてお送りいたします。主に中間管理職の人を想定していますが、人間関係の間に挟まれている人にとって、すこしでもヒントになれば幸いです。



「いかに人と折り合い、動いてもらうか？」

まず大切なのは、「己を知り、相手を知る」事です。我ながら、いきなり戦術家のような言葉が出てきました。あんがい皆さんは、わたしも含めてですが、自分の思った通りに考え、行動していきます。これは当たり前ですね。人はみな、自分がどんなタイプで、相手はこんな人間だから、こう話した方が相手に伝わりやすく、うまくいくなんてことは、普通考えません。ですが、人間関係をうまく進めている人、ここでは人とうまく折り合い、部下や後輩も進んで動いてくれ、上司や先輩にナイスアシストをしている人は、どこまで当人が自覚しているかはさておき、相手にどういえば伝わりやすく、動いてもらいやすいのか察知することがうまい人とも言えます。そして、相手によって柔軟に態度を変え、周りにも動いてもらえる、そんな人が確かにいます。こうした人はタイミングを取ることもうまく、自分のペースというより、相手の気分を見計らい、相手の時間が空いているときに、要望を伝えています。

こう書いていると、「八方美人になんてなりたくない」「腐っても鯛(タイ)でいたいのだ」という声も聞こえてきそうです。どちらかと言えば、わたしもそんな人間の一人です。しかし、そう思っている人は、どの世界においても出る杭は打たれ、人間関係や仕事においてもうまくいかないときが必ず出てきます。これはなぜか？我が働いているからです。我が働けば働くほど、相手は嫌がりますから、人間関係はうまくいかず、その先のミッションも思ったようにクリアできません。ですから、どうやら人間関係において我を押し通すことは、人間関係を破綻させ、協力が得られない状況のみずから作り出してしまふことにつながってしまうのです。

そうであれば、部下や後輩が何を望み、どうして欲しいのか、どうなれば良いと考えているのかをまずは聴き、できないことはできないですが、できない理由を考えるより、できる理由を考え、前向きにチャレンジしていけば、部下や後輩もきっとあなたのために動いてくれるようになります。ちなみに、できない理由を考えているのも我です。こうなったら、ああなったら、と自分の保全ばかりを考え、先行きの不安が、前進を止めてしまいます。もし方策に疑問があるときは部下や後輩に問いかけ、もっとよい提案があるときは「この方がよくない？」と世界観を広げてあげることが、部下や後輩の育成にもつながっていきます。

10月～11月のお知らせ

10月1日(金)・13日(水)・22日(金)、11月5日(金)・26日(金)に出勤の予定です。詳しい時間帯については本園が長沼までお問い合わせ下さい。



10・11月号のテーマは「なぜ占いは当たる気がするのか？」についてお知らせ致します！是非ご覧下さい！